

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日 令和7年6月 日

部課名 健康こども部地域医療課

施設名	弘前市急患診療所
施設の設置目的	休日及び夜間における急病患者に対し、応急的な初期医療の提供を目的とする。
所在地	弘前市大字野田二丁目7番地1
指定管理者名	一般社団法人 弘前市医師会
指定期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで

1 事業計画の実施状況

事業計画書の通り適切に遂行された。

診療科目：内科・小児科（休日祝日のみ外科）

診療時間：夜間（毎日）午後7時～午後10時30分

　　日中（日曜日・祝日・8/13・12/31・1/1～3）午前10時～午後4時

従事者：夜間　医師2名、看護師3名、医療事務員1名

　　日中　医師3名、看護師6名、医療事務員2名、放射線技師1名

2 自主事業の実施状況

なし

3 市民サービス向上のための取組状況

市内医療機関が休診となる年末年始等の祝休日や夜間において、初期救急医療体制を維持していた。広報ひろさき等に施設案内を掲載し、市民への周知を行っている。

弘前市医師会ホームページに「急患診療所施設情報」「休日や夜間に具合が悪くなったら」「青森県こども医療でんわ相談」などを掲載し、市民へ情報発信している。

4 市民ニーズの把握の実施状況

弘前市急患診療所内にご意見箱を設置し、利用者の要望などの把握を図っている。

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

令和6年度受診者数 内科：1,126人、小児科：1,128人、外科：797人 合計：3,051人

6 指定管理業務の収支状況

令和6年度 収入額：95,710千円 支出額：95,710千円

7 実地調査の結果

施設の維持管理・運営は適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

休日・夜間救急診療体制対応日数

目標値 365日

実績値 365日

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	市側と連携対応し、サービスの向上を図っている。	今後も市側と連携対応し、サービスの向上に努める。
施設の管理	C	自動血球計数装置が更新され、設備面で充実された。冷暖房設備の故障に伴い、ウインドウエアコン、ファンヒーター等を使用しているが、冷暖房及び換気が不十分で改善が必要。	今後も市側と連携し、施設の管理・改善に努める。
経理の状況	B	専従者2名により、業務を遂行している。	今後も適正な事務処理を遂行する。
団体の財務状況	C	改善の必要あり。	7年度は運営の改善に努める。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	協定書・基準書等の内容に基づき、適正に実施している。	
施設の管理	B	施設内の環境整備や維持管理を適切にしており、また個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	施設・設備、備品等の状態に合わせて適時更新していく。
経理の状況	B	適正に実施している。	
団体の財務状況	C	令和6年度決算において赤字額が前年度より増大しており、団体の財務状況に注意していく必要がある。	指定管理業務に係る支出等を精査し、団体と協議する。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する